

法人名	姫路医療生活協同組合
事業所名	定期巡回・随時対応サービス あぼし

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	自己評価				コメント	外部評価 コメント
				実施状況					
				できている	ほぼできている	できていないことが多い	全くできていない		
I 構造評価 (Structure) [適正な事業運営]									
(1) 理念の明確化									
①	サービスの特徴を踏まえた理念の明確化	1	当該サービスの特徴である「利用者等の在宅生活の継続」と「心身の機能の維持回復」を実現するため、事業所独自の理念を掲げている	○				安心を提供し「その人らしい暮らし」をささえますという目標を持ち理念を明確に掲げている。	自己評価の内容確認しました。
(2) 適切な人材の育成									
①	専門技術の向上のための取り組み	2	管理者と職員は、当該サービスの特徴および事業所の理念について、その内容を十分に認識している	○				理念・定期巡回サービスを把握し認識出来ている。	自己評価の内容確認しました。
		3	運営者は、専門技術(アセスメント、随時対応時のオペレーターの判断能力など)の向上のため、職員を育成するための具体的な仕組みの構築や、法人内外の研修を受ける機会等を確保している		○			外部研修に参加しヘルパー会議等で勉強会、伝達を行っている。身体介護評価おこなっている	自己評価の内容確認しました。
		4	管理者は、サービス提供時の職員の配置等を検討する際、職員の能力が最大限に発揮され、能力開発が促されるよう配慮している	○				ヘルパー個々の能力を把握し配置を行っている。個人指導を行い、能力開発に取り組んでいる。	自己評価の内容確認しました。
②	介護職・看護職間の相互理解を深めるための機会の確保	5	介護職・看護職の間で、利用者等の特性・状況に係る相互の理解・認識の共有のための機会が、十分に確保されている		○			常に情報の共有が出来ている。介護ソフトの記録の確認、法人内訪問看護事業所とは週1回の合同カンファレンスを実施している。	情報共有は頻繁に行われ、互いの情報をもとに連携できている
(3) 適切な組織体制の構築									
①	組織マネジメントの取り組み	6	利用者等の特性に応じた柔軟なサービスを提供するため、最適且つ柔軟な人材配置(業務・シフトの工夫)を行っている	○				日々の必要人数を把握し、柔軟に対応できるシフト体制、業務分担をおこなっている	自己評価の内容確認しました。
②	介護・医療連携推進会議で得られた意見等の適切な反映	7	介護・医療連携推進会議を適時適切に開催すると共に、得られた要望、助言等(サービスの過少供給に対する指摘、改善策の提案等)を、サービスの提供等に適切に反映させている		○			年二回開催し、意見、助言に対し改善策をサービス提供等に反映できている	自己評価の内容確認しました。
(4) 適切な情報提供・共有のための基盤整備									
①	利用者等の状況に係る情報の随時更新・共有のための環境整備	8	利用者等の状況について、(個人情報管理に配慮した上で)必要に応じて関係者間で迅速に共有できるよう工夫されている	○				介護ソフトでケアの統一をおこない、日々の情報は随時チャットにて共有できている	体調不良時等にすぐに対応してくれている。安心している
(5) 安全管理の徹底									
①	職員の安全管理	9	サービス提供に係る職員の安全確保や災害時の緊急体制の構築等のため、事業所においてその具体的な対策が講じられている(交通安全、夜間訪問時の防犯対策、災害時対応等)	○				建物内防犯システムを導入している。社用車にはドライブレコーダーを設置。災害時の対応についてはBCP策定済、定期的に安否確認システムを利用して訓練も行っている。またアセスメント時に避難先などの聞き取りを行っている。	自己評価の内容確認しました。
②	利用者等の個人情報の保護	10	事業所において、利用者等に係る個人情報の適切な取り扱いと保護についての具体的な工夫が講じられているとともに、管理者や職員において共有されている		○			個人情報保護研修の実施。書類は鍵のかかる場所で保管している。個人情報に係わる誓約書を職員と交わしている。	自己評価の内容確認しました。
II 過程評価 (Process)									

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	自己評価				コメント	外部評価 コメント
				実施状況					
				できている	ほぼできている	できていないことが多い	全くできていない		
1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供									
(1) 利用者等の状況把握及びアセスメントに基づく計画の作成									
①	利用者等の24時間の暮らし全体に着目した、介護・看護両面からのアセスメントの実施	11	利用者等の一日の生活リズムに着目した、アセスメントが提案されている	○				計画作成責任者がアセスメントを行い、日々の状況を踏まえ変更が出来る	身体状況に合わせ、定期訪問が設定されている
		12	介護・看護の両面からのアセスメントが適切に実施され、両者の共有、つき合わせ等が行われている	○				法人内看護師とはチャット、電話での情報共有。法人外看護とはケアプラス、電話連絡行い共有できている	情報の共有ができています
②	利用者の心身の機能の維持回復や在宅生活の継続に軸足を置いた「未来志向型」の計画の作成	13	利用者の心身機能の維持回復に軸足を置いた計画の作成が志向されている	○				アセスメントに基づき、状態に応じた計画作成は行なっている	身体状況に合わせ、訪問回数や時間の変更ができています
		14	重度化しても医療依存度を高め過ぎないように、利用者の今後の変化を予測し、先を見越した適切なリスク管理を実現するための、「未来志向型」の計画の作成が志向されている		○			多職種でカンファレンスを行い、事前に情報の共有を行い、未来志向型計画が立てられている	事前に課題を抽出し情報の共有ができています
(2) 利用者等の状況変化への柔軟な対応と計画の見直し									
①	計画上のサービス提供日時に限定されない、必要に応じた柔軟な定期巡回・随時対応サービスの提供	15	計画上のサービス提供日時以外であっても、利用者等の状況に変化が生じた場合は、必要に応じて新たに定期巡回・随時対応サービスの提供日時を設定するなど、柔軟な運営に努めている	○				急変時やADL低下時には随時訪問の追加や時間変更を行い、対応出来ている。状態に応じた期限を設置し、状態の確認を行っている。	体調不良時には夜の訪問追加や随時対応を捨てないので安心している
②	継続したモニタリングを通じた利用者等の状況変化の早期把握と、計画への適宜反映	16	サービス提供を通じた、継続的なモニタリングによる、利用者等の状況変化の早期把握と、計画への適宜反映が行われている		○			ICTの活用による写真での状態確認や継続的なモニタリングにより早期把握、計画への把握は行っている。	情報の共有ができています
(3) 介護職・看護職の協働による一体的なサービスの提供									
①	介護職と看護職の相互の専門性を生かした柔軟なサービスの提供	17	より効率的・効果的なサービス提供を実現するため、介護職、看護職のそれぞれの専門性を生かした役割分担が行われている	○				介護職、看護職での役割を職員が把握し、役割分担は行えている。	細やかに情報の共有ができており役割を話し合い柔軟に対応できている
②	看護職によるサービス提供に関する指導、助言	18	看護職から介護職に対し、疾病予防・病状の予後予測・心身の機能の維持回復などの観点から、指導、助言が行われている	○				指導・助言を受けサービス提供を行いながら報告を行っている。	定期巡回が状況が介入することにより利用者の状況が改善されている
(4) 利用者等との情報及び意識の共有									
①	利用者等に対する当該サービスの趣旨及び特徴等についての十分な情報提供	19	サービスの開始前に、利用者等に本サービスが「在宅生活の継続」と「心身の機能の維持回復」を実現するためのサービスであり、訪問サービスは、その趣旨に沿って行われるアセスメントに基づき提供されることについて、十分な情報提供・説明が行われている	○				定期巡回サービスについて関係機関の理解を得てアセスメントに基づく柔軟なサービス提供について説明を行えている。	巡回サービスであることを事前に説明し自立支援を意識しサービスの提供ができています
②	利用者等との目標及び計画の共有と、適時適切な情報の提供	20	作成した計画の目標及びその内容について、利用者等に十分な説明を行うなど、共通の認識を得るための努力がされている		○			計画書の説明時に目標内容を細かく説明している。	自己評価の内容確認しました。

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	自己評価				コメント	外部評価 コメント
				実施状況					
				できている	ほぼできている	できていないことが多い	全くできていない		
		21	利用者の状況の変化や、それに伴うサービス提供の変化等について、家族等への適時・適切な報告・相談等が行われている		○			担当ケアマネジャーも含め、適時適切な報告・相談を実施している。	自己評価の内容確認しました。
2. 多職種連携に基づいた包括的・継続的マネジメント									
(1) 共同ケアマネジメントの実践									
①	利用者等の状況の変化についての、ケアマネジャーとの適切な情報共有及びケアプランへの積極的な提案	22	ケアマネジャーとの間で、利用者へのサービス提供状況、心身の機能の変化、周辺環境の変化等に係る情報が共有され、サービスの提供日時等が共同で決められている	○				ICTを活用、報告により、ケアマネジャーによるサービスの確認をおこない、日時を共同で変更できている	状況の変化を報告し、反映できている
		23	計画の目標達成のために、必要に応じて、ケアプランへの積極的な提案(地域内のフォーマル・インフォーマルサービスの活用等を含む)が行われている			○		地域内のサービス(フォーマル・インフォーマル)の活用を含め、より積極的な提案が必要である。	自己評価の内容確認しました。
②	定期的なアセスメント結果や目標の達成状況等に関する、多職種への積極的な情報提供	24	サービス担当者会議等の場を通じて、利用者等の状況や計画目標の達成状況について、多職種への情報提供が行われている		○			サービス担当者会議を行い、情報・目標達成状況について共有できている。	自己評価の内容確認しました。
(2) 多職種連携を通じた包括的・継続的マネジメントへの貢献									
①	利用者の在宅生活の継続に必要な、利用者等に対する包括的なサポートについての、多職種による検討	25	利用者の在宅生活の継続に必要な、包括的なサポート(保険外サービス、インフォーマルケア等の活用を含む)について、必要に応じて多職種による検討が行われている(※任意評価項目)			○		保険外サービスやインフォーマルケア等の活用を多職種と検討していきたい。	自己評価の内容確認しました。
		26	病院・施設への入院・入所、及び病院・施設からの退院・退所の際などに、切れ目のない介護・看護サービスを提供するために、必要に応じて多職種による検討や情報の共有が行われている(※任意評価項目)		○			病院へカンファレンスへ行き、情報共有をおこない、連携をおこなう取り組みが出来ている。	自己評価の内容確認しました。
②	多職種による効果的な役割分担及び連携に係る検討と、必要に応じた関係者等への積極的な提案	27	地域における利用者の在宅生活の継続に必要な、包括的なサポート体制を構築するため、多職種による効果的な役割分担や連携方策等について検討し、共有がされている(※任意評価項目)			○		専門職が連携を意識し、利用者や介護者の状態の変化を共有し、各専門職の役割分担や連携を積極的に行う必要がある。	自己評価の内容確認しました。
3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画									
(1) 地域への積極的な情報発信及び提案									
①	介護・医療連携推進会議の記録や、サービスの概要及び効果等の、地域に向けた積極的な情報の発信	28	介護・医療連携推進会議の記録について、誰でも見ることのできるような方法での情報発信が、迅速に行われている			○		地域密着型サービスが地域包括システムの中心的な役割を担っていることを十分に理解している。	自己評価の内容確認しました。
		29	当該サービスの概要や効果等についての、地域における正しい理解を広めるため、積極的な広報周知が行われている		○			サービスの知名度向上のために今後も積極的な広報周知が必要。今年度はケアマネ協会、地域の方への説明を積極的におこなっている	自己評価の内容確認しました。
(2) 地域包括ケアシステムの構築に向けての、まちづくりへの参画									
①	行政の地域包括ケアシステム構築に係る方針や計画の理解	30	行政が介護保険事業計画等で掲げている、地域包括ケアシステムの構築方針や計画の内容等について十分に理解している	○				地域密着型サービスが地域包括システムの中心的な役割を担っていることを十分に理解している。	自己評価の内容確認しました。

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	自己評価				外部評価 コメント	
				実施状況					コメント
				できている	ほぼできている	できていないことが多い	全くできていない		
②	サービス提供における、地域への展開	31	サービスの提供エリアについて、特定の建物等に限定せず、地域へ広く展開していくことが志向されている	○				特定の建物に限定したサービス提供は行っておらず、地域展開している。	自己評価の内容確認しました。
③	安心して暮らせるまちづくりに向けた、積極的な課題提起、改善策の提案等	32	当該サービスの提供等を通じて得た情報や知見、多様な関係者とのネットワーク等を活用し、介護・看護の観点から、まちづくりに係る問題認識を広い関係者間で共有し、必要に応じて具体的な課題提起、改善策の提案等（保険外サービスやインフォーマルサービスの開発・活用等）が行われている（※任意評価項目）			○		介護保険で対応が難しい部分を共有し情報共有できている	自己評価の内容確認しました。
①	サービス導入後の利用者の変化	33	サービスの導入により、利用者ごとの計画目標の達成が図られている		○			アセスメントに基づき、自立支援を心掛け目標達成が図られている。	自己評価の内容確認しました。
②	在宅生活の継続に対する安心感	34	サービスの導入により、利用者等において、在宅生活の継続に対する安心感が得られている	○				いつでもつながる安心、コールを押すことが出来る安心、いつでも駆けつけてくれるという思いで利用者・家族への安心感が得られている。	24時間365日のサービスを受け安心した生活が送れている